

「そだちとこころの教室」(神戸生田教室)です



No. 12-①
2023. 3

教室の様子を、No.10-①②、No.11-①②でご紹介しました。プレイ室を中心に、廊下や運動室、学習園で子供たちといろいろな活動をしています。まず、子供たちが、担当者やペアの友達との遊びが楽しい！と思えることを大切にしながら取り組んでいます。

楽しかった！
もっとやりたい！ またしよう！



子どもの様子に合わせて、
かわり方もかわります

担当者と、友達と、「楽しかった！」「もっと一緒にやりたい！」「今度はいつ？明日くるわ」「今度もしような！」と子供たちが思えることが、まず一番。大きな声でおしゃべりをし、自信をもってやってみようとする子供たちの姿を大切に、90分間を過ごしています。

＜個別指導＞ 担当者を信頼し、安心感を持つことが大切です。子供に寄り添い、心地よいかかわりが、情緒の安定につながります。生き生きと動いてくれることを願っています。

＜グループ指導＞ 子供同士のかかわりの時間です。遊び仲間に気づき、担当者が必要に応じて援助しながら、ルールのある遊びをしたり、相手に合わせて動いたり、やりとりしたりします。回を重ねると子供同士で「今日は何する？」と相談したり、遊んだりしています。

「ジャンボカルタ大会」
やっています！！

2学期から3学期にかけて、年長児はひらがなへの興味関心が高くなり、読んだり書いたりを生活の中でしています。その時、教室では、冬の遊びとしてカルタ遊びをしています。教室のカルタは、取り札1枚の大きさがB5サイズもあるジャンボカルタです。プレイ室中に札を置きますが、床だけではなく文字が見えるなら、手が届く棚や椅子の上にも、横向きやがさかさまに置いてOKです。子供たちは自分で置いた場所を覚えており、「それ、僕が置いたやつや！」と自慢げに取っています。

このカルタ大会には大事なポイントがあります。子供チームと大人チームに分かれて対戦です。チーム戦なので、自分が取れなくても、友達が札を取ると「やった～！」と大喜びです。また、文字に自信がない子には、読み札の文字を見せて同じ文字を探させる等、それぞれの参加のさせ方があります。取れたうれしさから、いつの間にか子供たちはとても集中してきます。最後は、一緒に数を数えます。自分たちが勝つと大喜びです。「楽しかった、もう一回しよう！」「先生、弱いな」等、色々な声が聞こえてきます。

楽しい遊びを通して、文字に関心が出てきたり、数を数えて量を比べたり、友達への意識も高まります。大人チームも真剣にやりますが、子供たちの仲間パワーに負けてしまいます。

子供たちの「やった！！」という、満足した顔を想像してみてくださいね。



お母さん、にっこり笑顔をわすれないでね。
子どもの『いいね！』に目を向けて。
『いいね！』をたくさん見つけましょう。

